

# HOTELERES

週刊 ホテルレストラン

2014.5.23 ¥1600

特集 短期集中で深掘り  
カップル満足度高める  
最新ウエディングシステム



TOP INTERVIEW  
グランドプリンスホテル広島  
総支配人 中野 忠昭 氏



宿泊部 広報担当  
山口 沙織氏 (やまぐち・さおり)

# 一丸続走

ホテル龍名館東京の挑戦

向けに厳選した発砲清酒を1本(300ml)用意、さらに当時制作したばかりのオリジナル江戸型染めの浴衣を用意した。

「幻想的な七夕の一日をお部屋でゆっくり、日本情緒を味わいながら楽しんでいただきたいという思いから企画し、発表いたしました。メディアからの反響も良く、ネット記事を中心に紹介され、広報活動の面白みを実感しました」と、広報の役目、やりがいを見出した山口の記憶に残る宿泊プランだった。

## 年末恒例窓清掃& 干支引き継ぎ式を企画

アイデアマンの山口はこんなことも始めた。それは年が明け干支が変わることにちなんで、年末に干支の引き継ぎ式をホテルの外に向かって打ち出したのだ。内容は午とへび(巳)が共同で窓清掃をするという企画として発案した。窓清掃員に干支のぬいぐるみを着せて引き継ぎ書を渡した後、窓清掃を行なうというものだ。

去年はへびから午へ。へびは午に「2013年は、政権交代によるアベノミクスの『へび』な改革で『ニョロニョロ』と尻上がりの一年でしたが、後半は台風など蛇足な部分もありました。でも年末にはプロ野球の決勝において、マー(馬)君の活躍が東北の被災地の方々に勇気づけました。2014年は、何事もなくうま(馬)くいくよう、午さんよろしく願い申し上げます」というエールを送るなど、ユニークな企画に報道陣も集まった。

「一昨年はサンタクロースで行ないましたが、息長く続くホテルでありたい、いつまでも引き継がれていくホテルであり

たいという思いから、昨年から干支の引き継ぎ式として窓清掃企画を打ち出しました。残念ながら雨模様でしたが決行し、ホテルの外にいた方々も足を止めて清掃の風景を見ていただき、ホテルの存在をアピールする良い機会になったと思います。この引き継ぎ式はこれからもずっと年末恒例企画として継続していきたいと思います」(山口)。ちなみに午からへびへの感謝の言葉も用意している。

## 社内的に“知らなかった”を 言わせない!

今後の課題はいち早く情報を収集するために、宿泊部における情報収集を呼びかけ、機を逃さずに情報を見つけだすことにある。それは、広報担当になる前は販売直前まで内容を知らない宿泊プランがあったことなどに起因している。

より一丸となるためにも、ほかのスタッフが担当しているホテルの活動にもアンテナを立て、商品企画をより生かすために、共有メールを使ってスタッフ間のやり取りを行なっていくことが必要だとしている。

「現状、商品企画と広報のスケジュール感の調整が課題です。うまくいかない各メディアで発表する機会を逸してしまう可能性もあります。また、スタッフのモチベーションアップのためにも常に注目される企画、イベントを考え、発信していきたいと考えています。広報担当として2年目を迎えますます、やりがいが高まっています」。アイデアマン山口のアイデアは龍名館の歴史のごとく止むことないパワーとなっている。

ユニークなプランでメディアの目を引く“メディアに認められるホテル”を目指しているのがホテルの広報活動1年、入社4年目の山口沙織だ。宿泊部のPRに向け、報道資料の制作、商品企画チームとの宿泊プラン作成など精力的に取り組んでいる。

山口の努力もあり、今では月に5、6件、ネット記事や雑誌に取り上げられるようになった。取材を受ける件数も増え、その件数が増えるにつれスタッフのモチベーションがアップし、職場の雰囲気も盛り上がってきていることも実感しているという。

特にユニークな宿泊プランやイベント企画はメディアの目を引く確率が高いことから、山口自身も楽しみながら取り組んでいる。実際に去年の7月、カップルや夫婦、女性2人組グループを対象に「七夕“星付き”宿泊プラン」を、7日間の期間限定、1日部屋限定で企画した。三つの特典付きだ。

内容は家庭用プラネタリウムのハイブリッド式次世代モデルを客室内に設置し、同ホテルの利き酒師が七夕